

## 平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス  
 コード番号 4928 URL <http://www.noevirholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 羽生 光嘉 (TEL) 078-303-5121  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	14,666	3.7	3,240	20.5	3,360	21.8	1,133	20.5
28年9月期第1四半期	14,138	10.9	2,690	7.5	2,758	△2.8	941	△16.2

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 1,496百万円( 36.0%) 28年9月期第1四半期 1,100百万円(△15.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年9月期第1四半期	31.99	—	—	—
28年9月期第1四半期	26.55	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	88,262	53,150	60.0
28年9月期	89,709	55,908	62.2

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 52,993百万円 28年9月期 55,783百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年9月期	—	0.00	—	120.00	—	120.00
29年9月期	—	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	120.00	—	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	25,300	1.5	3,800	2.2	3,900	6.2	1,300	4.3	36.67	—
通期	52,000	1.6	8,500	10.3	8,700	11.1	5,800	14.9	163.60	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	35,451,653株	28年9月期	35,451,653株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	30株	28年9月期	30株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	35,451,623株	28年9月期1Q	35,451,643株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	14,138	100.0	14,666	100.0	528	3.7
化粧品事業	10,617	75.1	11,233	76.6	616	5.8
医薬・食品事業	3,356	23.7	3,193	21.8	△162	△4.8
その他の事業	164	1.2	238	1.6	74	45.6

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	2,690	19.0	3,240	22.1	550	20.5
経常利益	2,758	19.5	3,360	22.9	601	21.8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	941	6.7	1,133	7.7	192	20.5

当第1四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより緩やかな回復基調を続けているものの、急激な為替相場の変動や海外経済の不確実性が高まり、景気の動向は不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業を展開する国内外の市場においては、消費者の多様な潜在需要が見込まれます。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,666百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は3,240百万円（同20.5%増）、経常利益は3,360百万円（同21.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,133百万円（同20.5%増）となりました。

化粧品事業の売上高は11,233百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は3,655百万円（同5.4%増）となりました。カウンセリング化粧品の売上は、新商品の発売などにより前年を上回りました。セルフ化粧品の売上は、新商品及び既存シリーズが幅広い顧客層の支持を得て好調に推移しました。

医薬・食品事業の売上高は3,193百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は150百万円（前年同期のセグメント損失は185百万円）となりました。医薬品の売上は、前年を下回ったものの、食品の売上は、好調に推移しました。

その他の事業の売上高は238百万円（前年同期比45.6%増）、セグメント損失は21百万円（前年同期のセグメント損失は104百万円）となりました。アパレル・ボディファッション関連の売上は、前年を下回りました。航空関連の売上は、前年を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,446百万円減少し、88,262百万円となりました。主に、現金及び預金が1,697百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,310百万円増加し、35,111百万円となりました。主に、未払金が344百万円、支払手形及び買掛金が277百万円、流動負債（その他）が676百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,757百万円減少し、53,150百万円となりました。主に、前期末配当4,254百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益1,133百万円により利益剰余金が3,120百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は60.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末の37,895百万円に比べ1,705百万円減少し、36,190百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は2,340百万円（前年同期比1,601百万円の収入増）となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益3,334百万円と、減少要因としては、法人税等の支払及び還付1,440百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は24百万円（前年同期比9,948百万円の支出減）となりました。これは、主に、有形固定資産の売却による収入211百万円と、減少要因としては、投資有価証券の取得による支出90百万円、有形固定資産の取得による支出87百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は4,230百万円（前年同期比728百万円の支出増）となりました。これは、主に、配当金の支払4,200百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月8日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,959	36,261
受取手形及び売掛金	10,880	12,248
商品及び製品	5,787	5,703
仕掛品	110	93
原材料及び貯蔵品	1,319	1,128
繰延税金資産	807	746
未収入金	3,088	2,405
その他	627	624
貸倒引当金	△28	△22
流動資産合計	60,552	59,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,672	4,562
機械装置及び運搬具（純額）	3,711	3,625
土地	13,832	13,653
リース資産（純額）	1,551	1,524
建設仮勘定	210	218
その他（純額）	219	221
有形固定資産合計	24,198	23,805
無形固定資産		
のれん	94	83
ソフトウェア	143	135
その他	90	90
無形固定資産合計	328	309
投資その他の資産		
投資有価証券	1,641	1,881
繰延税金資産	1,855	1,939
その他	1,171	1,178
貸倒引当金	△39	△40
投資その他の資産合計	4,629	4,958
固定資産合計	29,157	29,074
資産合計	89,709	88,262

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,570	5,847
リース債務	117	117
未払金	3,407	3,752
未払法人税等	1,425	1,594
賞与引当金	65	51
返品調整引当金	375	433
その他	959	1,635
流動負債合計	11,921	13,432
固定負債		
リース債務	1,557	1,527
長期預り保証金	14,827	14,691
繰延税金負債	264	319
退職給付に係る負債	5,093	5,006
その他	136	134
固定負債合計	21,880	21,679
負債合計	33,801	35,111
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	48,420	45,299
自己株式	△0	△0
株主資本合計	55,739	52,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	453	557
為替換算調整勘定	△292	△88
退職給付に係る調整累計額	△116	△94
その他の包括利益累計額合計	44	374
非支配株主持分	125	157
純資産合計	55,908	53,150
負債純資産合計	89,709	88,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	14,138	14,666
売上原価	4,946	4,778
売上総利益	9,191	9,888
販売費及び一般管理費	6,501	6,647
営業利益	2,690	3,240
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	5	5
為替差益	14	30
受取賃貸料	18	3
受取和解金	—	51
その他	28	28
営業外収益合計	71	120
営業外費用		
支払利息	0	—
その他	1	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	2,758	3,360
特別利益		
固定資産売却益	—	174
特別利益合計	—	174
特別損失		
固定資産除売却損	3	1
減損損失	—	199
特別損失合計	3	201
税金等調整前四半期純利益	2,755	3,334
法人税、住民税及び事業税	1,934	2,207
法人税等調整額	△136	△21
法人税等合計	1,798	2,185
四半期純利益	957	1,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	941	1,133

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	957	1,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	103
為替換算調整勘定	4	221
退職給付に係る調整額	36	22
その他の包括利益合計	143	347
四半期包括利益	1,100	1,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,086	1,464
非支配株主に係る四半期包括利益	13	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,755	3,334
減価償却費	347	382
減損損失	—	199
のれん償却額	11	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	△15
返品調整引当金の増減額(△は減少)	315	58
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24	△88
受取利息及び受取配当金	△10	△7
支払利息	0	—
為替差損益(△は益)	△11	△15
固定資産除売却損益(△は益)	3	△173
売上債権の増減額(△は増加)	△1,195	△1,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△422	353
仕入債務の増減額(△は減少)	1,097	263
預り保証金の増減額(△は減少)	△147	△136
その他	853	938
小計	3,595	3,774
利息及び配当金の受取額	8	6
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,865	△1,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	738	2,340
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19	△17
定期預金の払戻による収入	619	17
有価証券の取得による支出	△9,996	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△90
有形固定資産の取得による支出	△505	△87
有形固定資産の売却による収入	0	211
無形固定資産の取得による支出	△22	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,923	24
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△3,494	△4,200
その他	△7	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,501	△4,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,682	△1,705
現金及び現金同等物の期首残高	37,139	37,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,457	36,190

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	10,617	3,356	164	14,138	—	14,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	40	40	△40	—
計	10,617	3,356	204	14,178	△40	14,138
セグメント利益又は損失(△)	3,469	△185	△104	3,179	△489	2,690

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△489百万円の内訳は、セグメント間取引消去166百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△655百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	11,233	3,193	238	14,666	—	14,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	43	43	△43	—
計	11,233	3,193	282	14,709	△43	14,666
セグメント利益又は損失(△)	3,655	150	△21	3,784	△543	3,240

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△543百万円の内訳は、セグメント間取引消去76百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△620百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

化粧品事業及び「医薬・食品事業」において、売却することとなった施設の土地・建物等について、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「化粧品事業」189百万円、「医薬・食品事業」10百万円であります。